

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEE対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三協則武鋼業株式会社 工場新築工	階数	地上1F
建設地	大阪府堺市西区築港新町1丁5番7	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 0.0	評価の実施日	2014年11月15日
敷地面積	69,647 m <sup>2</sup>	作成者	浅倉 幹夫
建築面積	13,932 m <sup>2</sup>	確認日	2014年11月17日
延床面積	13,642 m <sup>2</sup>	確認者	浅倉 幹夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外の 73%  
④上記+ 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.2

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.0

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.8

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.9

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	敷地内緑化は工場立地法に基づく緑地面積を確保。	<b>その他</b> 現況敷地のレベルを極力そのまま利用し、造成工事によるエネルギーの発生させず、敷地外環境への影響も発生させない。
<b>Q1 室内環境</b>	大きな開口部を設け、風通しのよい空間としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内緑化は工場立地法に基づく緑地面積を確保。
<b>LR1 エネルギー</b>	大開口により自然採光を最大限利用し、十分な通風も確保。	<b>LR3 敷地外環境</b> 工場エリアでは空調機を設置せず、通風による十分な自然換気を行うことにより、CO <sub>2</sub> の発生をさせず、騒音・振動等も発生させない。
<b>Q2 サービス性能</b>	敷地内のトラック走行車路を一方通行にし、無駄のない合理的な動線計画とした。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	躯体材料の殆どを鉄骨及び鉄板とするリサイクル資材を使用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	三協則武鋼業株式会社 工場新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区築港新町一丁5番7、5番8		
	主用途/延床面積	工場 / 13,642.20 m <sup>2</sup>		
			1	B+

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
<b>CO<sub>2</sub>削減</b>		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
<b>省エネ対策</b>		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	0.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.0		
<b>みどり・ヒートアイランド対策</b>		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0		
<b>安全快適な暮らし</b>		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	4	
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0		
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0		
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0		

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	